

# 資料編 愛媛大学「四国遍路と世界の巡礼」研究会刊行物総目次

寺内 浩 編

- ①『平成13年度 愛媛大学公開講座プロシーディング 四国遍路と世界の巡礼』(2001年12月)
- 山川廣司「四国遍路と世界の巡礼」総論  
松原弘宣「遍路道成立の背景—古代四国の交通路と検察システム—」  
寺内浩「空海と四国遍路」  
内田九州男「遍路の図像学」  
田中智彦「日本の巡礼と四国遍路」  
河合眞澄「近世演劇における四国遍路と巡礼」  
若江賢三「中国人のインド巡礼—『大唐西域記』の虚構性について」  
藤田勝久「中国古代の交通と祭祀—泰山の信仰—」  
高橋弘臣「中国近世の巡礼—成尋『參天台五台山記』をめぐって—」  
菅谷成子「スペイン領フィリピンにおけるカトリック信仰—スペイン植民地支配とカトリシズム—」  
山川廣司「古代ギリシアのアスクレピオス崇拜と巡礼」  
吉田正広「イギリスにおける民衆信仰—キリスト教巡礼とその衰退」  
西耕生「四国辺地」をめぐる覚書—和語「へち」について」  
田村憲治「説話文学と四国遍路」
- ②『四国遍路と世界の巡礼 平成15年度愛媛大学国内シンポジウムプロシーディングス』(2004年2月)
- 小嶋博巳「遍路と巡礼—その構造比較—」  
内田九州男「願掛け・参詣・遍路(巡礼)」  
中谷功治「ゲミレル島遺跡と巡礼活動—東地中海の初期キリスト教遺跡調査から—」  
加藤國安「靈山と癒し—唐詩の中の天台山—」  
渡邊昌美「巡礼—ヨーロッパの場合」  
寺内浩「四国遍路の形成について」  
川岡勉「中世の寺社参詣と地域権力—伊予国を中心に—」  
稲田道彦「納経帳から見た、幕末から明治初期の遍路道の変更」  
山本秀夫「近世期の「へんろ」と村社会—往来手形と日記を通して—」  
長谷川賢二「阿波の巡礼とその資料」  
吉田正広「イングランド宗教改革と巡礼の消滅—イギリスにおける近年の巡礼研究を手がかりに—」  
河合眞澄「近世演劇に見る順礼の諸相—近世中期の上方歌舞伎—」
- ③『四国遍路と世界の巡礼 平成16年度愛媛大学国際シンポジウムプロシーディングス』(2005年3月)
- ジャン・シェリーニ「時間と空間からみた巡礼の世界」  
ナタリー・クワメ「私と四国遍路研究」  
山川廣司「古代ギリシアのエピダウロス巡礼—アスクレピオスの治療祭儀—」  
吉田正広「20世紀イングランドにおける巡礼の復活—ウォルシンガムの聖母—」  
関哲行「前近代のサンティアゴ巡礼と「観光」」  
加藤國安「靈山と癒し—中国の南岳をめぐって—」  
小嶋博巳「六十六部廻国とその巡礼地」  
稲田道彦「四国遍路の巡礼路の景観の特徴」  
川岡勉「コメント 日本史」  
矢澤知行「コメント 東洋史」  
関哲行「コメント 西洋史」

内田九州男「近世の巡礼者たち—往来手形と身分—」  
寺内浩「平安時代の四国遍路」  
山本秀夫「遍路と村社会—送り迎えの論理から—」  
西耕生「平安文学語彙にみる「辺路」の周辺」  
河合眞澄「浄瑠璃に見る四国遍路と順礼」

④『四国遍路と世界の巡礼—人的移動・交流とその社会史的アプローチ—』（科研費研究成果報告書、2005年3月）

寺内浩「平安時代の四国遍路—辺路修行をめぐる—」  
西耕生「「四国辺路」異見」  
内田九州男「近世の巡礼者たち—往来手形と身分—」  
河合眞澄「浄瑠璃に見る四国遍路と順礼」  
神楽岡幼子「十辺舎—九作『金草鞋』「第十四編四国偏路」について—『四国偏礼道指南増補大成』との関連を中心に—」  
高橋弘臣「成尋の天台山・五台山巡礼と宋朝の対応」  
松原弘宣「古代の民衆交通—古代国家の交通規制と民衆の交通権について—」  
小嶋博巳「六十六部廻国とその巡礼地」  
藤田勝久「中国古代の旅と巡礼」  
加藤國安「霊山と癒し—中国の南岳をめぐる—」  
矢澤知行「モンゴル時代の交通ネットワークと巡礼—イスラーム世界とのかかわりを中心に—」  
菅谷成子「スペイン植民地都市マニラ・ピノンドの中国人とカトリック信仰」  
山川廣司「古代ギリシアのエピダウロス巡礼—アスクレピオスの治療祭儀—」  
吉田正広「20世紀イングランドにおける巡礼の復活—ウォルシンガムの聖母—」  
内田九州男「四国遍路関係資料データ表」

⑤『四国遍路と世界の巡礼—アジアの巡礼— 公開シンポジウムプロシーディングズ』（2006年2月）

大稔哲也「イスラームの巡礼・参詣—エジプトの聖墓参詣を中心に—」  
黒木幹夫「カイラス巡礼—宗教的見地から」  
内田九州男「四国遍路と作法の変遷」  
関哲行「コメント」  
石川重雄「伝統中国の巡礼—宋元時代における接待・施水庵の展開」  
弘末雅士「東南アジアの港市国家におけるイスラームの展開と巡礼」  
菅谷成子「スペイン領フィリピンにおけるカトリック信仰」  
矢澤知行「モンゴル時代のチベット仏教に関する研究史的考察」  
ディビット・モートン「現代における外国人の目から見た四国遍路」  
犬伏武彦「遍路宿の建築調査より…伝えるべき歴史文化財」

⑥『現代の巡礼—四国遍路と世界の巡礼— 公開シンポジウムプロシーディングズ』（2007年2月）

河野昌広「現代の四国遍路—道空間の視点から—」  
竹川郁雄「聞き取り調査より探る現代の四国遍路」  
野崎賢也「現代ツーリズムと歩き遍路—「アウトドア」への展開—」  
浅川泰宏「響振する苦しみ—ある女性遍路にみる〈救い〉の構築プロセス—」  
ディビット・モートン「フレデリック・スタール（お札博士）と四国遍路」  
井原恒久「四国遍路における接待の「援助性」—文政期・天保期を中心に—」  
宮瀬温子「県下の公共資料館等が所蔵する四国遍路関係資料—その保存と活用—」  
内田九州男「高知県いの町（旧本川村）所在鱒口銘文の紹介と検討—八十八ヶ所成立論根拠資料の再吟味—」

⑦『四国遍路と世界の巡礼』（法蔵館、2007年5月）

小嶋博巳「遍路と巡礼」  
寺内浩「古代の四国遍路」  
西耕生「『四国遍路』遡源—古語と地名解釈」  
松原弘宣「コラム：日本古代の旅と交通」  
川岡勉「中世の石手寺と四国遍路」  
内田九州男「四国八十八ヶ所の成立時期」  
河合眞澄「近世演劇にみる四国遍路」  
神楽岡幼子「コラム：十辺舎一九の描いた四国遍路」  
加藤国安「天台山に惹かれた唐人たち」  
藤田勝久「コラム：中国聖地・五岳の変遷」  
高橋弘臣「成尋の天台山・五台山巡礼」  
若江賢三「コラム：法顯と玄奘のインド行」  
矢澤知行「モンゴル時代の巡礼旅行者たち」  
大稔哲也「イスラームの巡礼と参詣—エジプトの聖墓参詣を中心に—」  
菅谷成子「コラム：フィリピンにおける聖母マリア崇敬と中国人」  
山川廣司「古代ギリシアのエピダウロス巡礼—アスクレピオスの治療祭儀」  
関哲行「サンティアゴ巡礼」  
吉田正広「ウォルシンガムの聖母—近代に復活したイングランドの巡礼地」

⑧『四国遍路を中心とした日本・世界の巡礼の総合的研究 平成 19 年度報告書』（2008 年 3 月）

〈四国遍路と世界遺産シリーズ講演会〉

脇田晴子「石見銀山の世界遺産登録と学術研究」

岡田保良「世界遺産を巡る諸動向— I COMOS 国際記念物遺跡会議の視点から—」

〈サンティアゴ巡礼現地調査報告〉

山川廣司「サンティアゴ巡礼現地調査の日程とその概要」

菅谷成子「サンティアゴ・デ・コンポステーラと大聖堂」

内田九州男「サンティアゴ巡礼調査に参加して—その仕組みを考える—」

〈史料紹介〉

内田九州男「二点の遍路絵図の紹介」

⑨『巡礼と救済—四国遍路と世界の巡礼— 公開シンポジウム・研究集会プロシーディングス』（2008 年 3 月）

鈴木景二「熊野参詣路の庶民扶助について」

北川央「西国巡礼—その歴史と信仰—」

内田九州男「コメント：四国遍路研究の立場から」

足立広明「古代末期のキリスト教巡礼の諸相」

山代宏道「中世ヨーロッパのキリスト教巡礼—聖地と救済—」

伊地知紀子「済州 4・3 をめぐる巡礼—無辜な死を悼む旅路—」

浅井英典「歩くことの効用について考える—生理学的知見から—」

井上淳「近世後期における四国遍路の数量的考察—「於仏木寺接待」の分析—」

〈公開シンポジウム・研究集会参加記〉

浅川泰宏「『巡礼と救済—四国遍路と世界の巡礼—」シンポジウム・研究集会に参加して」

石川重雄「『接待』考—シンポジウムに寄せて—」

河野昌広「巡礼と救済—四国遍路とその他の巡礼との比較の観点から—」

ディビット・モートン「巡礼：理想的な世界」

〈付録 1 第 1 回合宿研究会参加記〉は省略

〈付録 2 海外現地調査報告〉

石川重雄「中国杭州市域における宋代史跡ならびに“天竺進香”調査報告」について」  
木下卓「Canterbury, Walsingham, Elyを訪ねて」  
吉田正広「第一次世界大戦戦没者追悼と巡礼ーロンドン「大巡礼」とイーブル「戦場巡礼」ー」  
山川廣司「古代ギリシアの巡礼地歴訪」

⑩『四国遍路と世界の巡礼 その歴史的諸相の解明と国際比較 活動紹介』(2009年3月)

神楽岡幼子「二代目長谷川貞信画『金毘羅靈験広報』について」

〈海外現地調査報告〉

大稔哲也「エジプト・トルコ調査から」

藤田勝久「中国古代の交通路と泰山調査記」

矢澤知行「中国山東省泰山調査報告」

加藤好文「アメリカにおける史跡整備と巡礼ー日系アメリカ人収容所(跡地)をめぐる」

\*合宿研究会参加記は省略

⑪『四国遍路を中心とした日本・世界の巡礼の総合的研究 平成20年度報告書』(2009年3月)

〈四国遍路と世界遺産シリーズ講演会〉

辻林浩「世界遺産熊野参詣道(熊野古道)について」

ホビノ・サンミゲル「四国遍路とサンティアゴ巡礼」

〈史料紹介〉

内田九州男「『南海道名所志并四国八十八箇所道中記』について」

⑫『第1回四国地域史研究大会ー四国遍路研究前進のためにー公開シンポジウム・研究集会報告書』(2009年3月)

浅川泰宏「最近の遍路・巡礼研究の動向と特徴」

内田九州男「近世における四国諸藩の遍路統制」

石川重雄「中国“天竺進香”への誘いー1200年の時空を越えた上天竺観音ー」

吉田正広「第一次世界大戦とイギリス人の戦場巡礼ーベルギーのイーブルへの旅ー」

川岡勉「中世の高野山参詣と地域権力ー伊予における展開ー」

長谷川賢二「四国遍路の周縁における霊場と信仰ー阿波国南部の事例からー」

小松勝記「創作された四国へんろ資料『空性法親王四国霊場御巡行記』」

武田和昭「四国辺(遍)路における阿弥陀・念仏信仰ー奇異な弘法大師伝との関係ー」

⑬『四国遍路と世界の巡礼 その歴史的諸相の解明と国際比較 研究活動成果報告集』(2010年3月)

内田九州男「『四国遍路と世界の巡礼』研究会の研究成果について」

長谷川まゆ帆「近世期ロレーヌ地方の巡礼」

塚本栄美子「近世ドイツ巡礼考事始ー地域的な巡礼地と宗教改革の影響ー」

〈海外現地調査報告〉

関哲行「海外調査(モロッコ、スペイン)報告書」

「遍路・巡礼研究データベース」

\*合宿研究会参加記は省略

⑭『四国遍路を中心とした日本・世界の巡礼の総合的研究 平成21年度報告書』(2010年3月)

〈四国遍路と世界遺産シリーズ講演会〉

真鍋俊照「四国遍路の魅力ー霊場寺院の立場からー」

藤好史郎「四国遍路の世界遺産化にむけてー四国4県の取り組みー」

真野俊和「劇場としての四国八十八ヶ所」

〈2008年度フランス巡礼地調査〉

内田九州男「調査概要」

岡村茂「巡礼の街パリ：サンジャックの塔を中心に（ランスへの調査を含めて）」

内田九州男「モン・サン・ミシェルとルルドの調査」

〈2009年度イタリア巡礼地調査〉

山川廣司「調査概要」

山川廣司「ローマ7巡礼聖堂をめぐって」

矢澤知行「北イタリアのサクロ・モンテ（聖山）巡礼」

⑮『2009年度 四国遍路と世界の巡礼 国際シンポジウムプロシーディングス』（2010年3月）

イアン・リーダー「比較巡礼研究の観点から見た四国遍路—その示唆するものと今後のゆくえ—」

山川廣司「古代ギリシア・デルフォイ巡礼—アポロンの神託祭儀—」

山代宏道「中世イングランドにおける聖人崇拜と巡礼—イースト=アングリアを中心に—」

関哲行「中近世のサンティアゴ巡礼—幾つかの事例研究—」

矢澤知行「モンゴル時代中国の祭祀と巡礼」

石川重雄「上天竺観音信仰と天竺進香の現在—伝統中国の巡礼と社会—」

大稔哲也「エジプト死者の街の参詣における参詣のシャイフと参詣書」

弘末雅士「九聖人（ワリ・ソング）の聖墓参拝とジャワ世界」

ディビット・モートン「昭和初期の外国人遍路：アルフレッド・ボーナー」

内田九州男「遍路・巡礼と往来手形」

福田安典「江戸期の版本に描かれた遍路の姿—『予州安西法師往生記』を中心に—」

竹川郁雄「コメント：聞き取り調査より探る現代の四国遍路」

浅川泰宏「コメント：巡礼研究の4つの論点—巡礼現象の現代性と古典的巡礼の理解の断層から」

内田九州男「コメント：遍路の白装束と仏前勤行について」

イアン・リーダー「竹川、浅川、内田先生へのコメント」

⑯『2010年度 四国遍路と世界の巡礼 公開講演会・研究集会プロシーディングス』（2011年3月）

頼富本宏「接待のかたちと心—実践者の立場から—」

ディビット・モートン「泰緬鉄道への巡礼」

加藤好文「日系アメリカ人と太平洋戦争—収容所体験と記憶の伝承をめぐって」

山代宏道「ハワイ東西センター・ワークショップ「歴史と記憶：太平洋戦争の遺産」に参加して」

吉田正広「イギリス人の戦争墓巡礼と追悼文化」

小幡尚「コメント～日本近代史、とくに戦没者慰霊研究の立場から」

⑰『2011年度 四国遍路と世界の巡礼 公開講演会・研究集会プロシーディングス』（2012年3月）

大石雅章「遍路文化を活かした地域人間力育成の取り組み—鳴門教育大学の場合—」

寺内浩「コメント：愛媛大学共通教育科目と「歩き遍路」の試み」

青柳かおる「イスラームにおけるメッカ巡礼と聖者廟参詣」

森正人「巡礼の近代性と物質性—四国遍路を事例に—」

竹川郁雄「お遍路さんはどのような人たちか—2011年聞き取り調査より—」

内田九州男「再論：四国遍路と作法の変遷」

⑱『2012年度 四国遍路と世界の巡礼 第5回四国地域史研究大会「山岳信仰と四国遍路」公開講演会・研究集会プロシーディングス』（2013年3月）

山川廣司「古代ギリシアの宗教と王権—山頂聖所とミノア王権—」

西海賢二「石鏃信仰と四国遍路」

加納裕之「山林寺院 中寺廃寺跡と弘法大師空海の時代」

早瀬隆人「考古学的視点でみた四国札所霊場―太龍寺・鶴林寺の調査から―」  
岡本桂典「四国遍路にみる山岳信仰―土佐の四国霊場と山岳信仰―」  
森正康「女人不浄観と山岳信仰・四国遍路」  
胡光「山岳信仰と四国遍路」

①『巡礼の歴史と現在―四国遍路と世界の巡礼―』（岩田書院、2013年10月）

寺内浩「平安時代後期の辺地修行者と地域」  
川岡勉「中世の四国遍路と高野参詣」  
胡光「四国八十八ヶ所霊場成立試論―大辺路・中辺路・小辺路の考察を中心にして―」  
内田九州男「四国遍路―そのスタイルの諸特徴について―」  
小嶋博巳「近世末期の渡世六部の廻国と作善―越後金益の資料から―」  
稲田道彦「四国遍路の幕末期における巡礼路の変更」  
モートン常慈「西洋人の目で見た四国遍路―大正中期から昭和初期まで―」  
浅川泰宏「聖なるものを見る、聞く、撫でる―四国遍路と坂東巡礼―」  
竹川郁雄「現代における四国遍路の様相―聞き取り調査をもとに―」  
高橋弘臣「成尋の天台山巡礼をめぐって」  
矢澤知行「モンゴル時代の中国における祭祀と巡礼―「官」と「民」のはざまに見えるもの―」  
石川重雄「伝統中国の巡礼と天竺進香―宋代より現代に至る杭州・上天竺観音信仰―」  
弘末雅士「九聖人（ワリ・ソング）の聖墓参拝とジャワ世界」  
山川廣司「古代ギリシア・デルフォイ巡礼」  
山代宏道「中世イングランドにおける聖人崇拜と巡礼」  
吉田正広「イギリス人の戦争墓巡礼と追悼文化」  
加藤好文「日系アメリカ人戦争記念碑と巡礼」  
伊地知紀子「韓国における現代の巡礼―無辜な死を悼む旅路―」

②『2013年度 四国遍路と世界の巡礼 公開講演会・公開シンポジウムプロシーディングス』（2014年3月）

塚本明「江戸時代の巡礼たちの諸相―熊野古道沿いの資料から」  
内田九州男「コメント1」  
塚本明「コメント2」  
胡光「『遍路日記』に見る四国、その内と外と」  
守川知子「シーア派の聖地巡礼―イラク・イランの聖墓参詣を中心に」  
近藤浩二「越中からの四国遍路―「道中小遣留帳」を素材に―」  
齋藤剛「モロッコの聖者信仰と参詣―文化人類学の視点から―」  
〈史料編〉  
塚本明・近藤浩二・胡光「巡礼と「道中日記」の諸相」

③『四国遍路と世界の巡礼―愛媛大学研究最前線―』（2014年5月）

『愛媛新聞』2013年4月～2014年4月掲載

④『2014年度 四国遍路と世界の巡礼 公開講演会・研究集会プロシーディングス』（2015年3月）

星野英紀「現代遍路体験のなかに空海の宗教的世界を読みとる」  
長井 健・石岡ひとみ「太山寺の書画と工芸 ―四国霊場開創1200年記念「空海の足音 四国へんろ展」の調査から―」  
柴谷 宗叔「江戸初期の四国遍路―澄禅の足跡をたどる―」  
矢澤 知行「中国・台湾の媽祖巡礼―その成立・展開・現状について―」  
内田九州男『『四国辺路（徧礼）道指南』諸本の比較』  
〈資料編〉

寺内浩編「愛媛大学「四国遍路と世界の巡礼」研究会刊行物総目次」

内田九州男「瀬戸内海歴史民俗資料館蔵本『四國邊路道指南』」

【資料集】

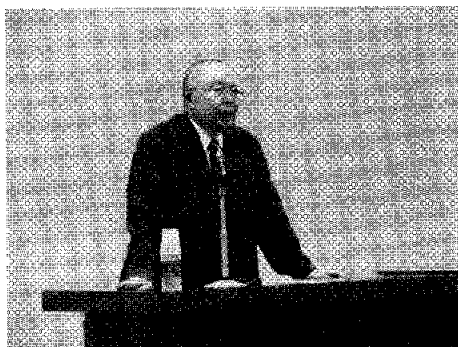
- (1) 『四国遍路の研究－歴史的諸相と瀬戸内交通－(資料編)』(2007年3月)
- (2) 『資料紹介・『奉納四国中辺路之日記』』(2008年3月)
- (3) 『四国の近現代地図集』(2010年3月)
- (4) 『明治七年甲戌第二月吉日 伊勢参宮金比羅西国三十三所 道中日記帳』(2010年3月)



加藤好文法文学部長挨拶



寺内 浩代表挨拶



星野英紀先生講演



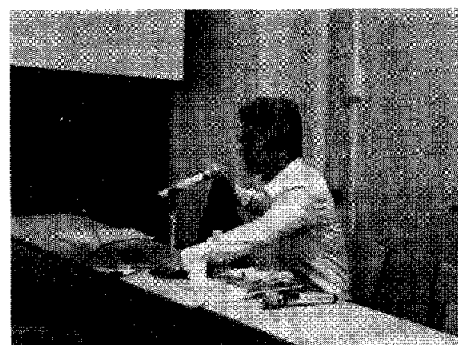
講演会場



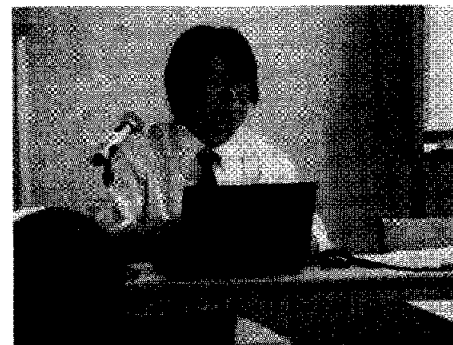
長井 健氏・石岡ひとみ氏報告



柴谷宗叔氏報告



矢澤知行氏報告



内田九州男氏報告